

平成 24 年度

(平成 24 年 (2012 年) 4 月 1 日～平成 25 年 (2013 年) 3 月 31 日)

事業報告書

平成 25 年 5 月

公益財団法人浜松国際交流協会

目次

事業実施の背景と取り組み	3
事業報告	
公益事業 1	
1. 国際理解教育推進事業	5
①地球人教育出前講座（市委託：多文化共生センター事業）	
②国際理解教育講座（自主事業）	
③第3回はままつグローバルフェア（自主事業）	
④多文化体験・交流事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	
2. 外国語講座事業	10
①国際交流のための外国語講座（自主事業）	
②国際交流のための外国語サロン（自主事業）	
③外国人支援者のためのポルトガル語講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
3. 国際交流事業（自主事業）	12
①ちゃんぷるインドネシア共催事業	
②ワールドゆかたおしゃれコンテスト	
③ブラジルの魅力	
④親子でまち歩き	
⑤親子で English	
⑥感謝の集い	
⑦ブラジルポピュラーミュージックの旅 2012	
⑧ポルトガル語スピーチコンテスト	
⑨行ってみたいアイルランド	
4. ボランティア活動支援事業（自主事業）	15
①HICE ボランティアバンクの運営	
②ホームステイ・コーディネート	
5. 国際交流活動支援事業	16
①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の交付	
②地域日本語推進事業（市委託：外国人学習支援センター）	
③天竜地域事業（市委託：外国人学習支援センター・自主事業）	
④セミナールームの活用（市委託：多文化共生センター事業）	
⑤多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託：多文化共生センター事業）	

6. 情報提供事業	20
①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）	
②ホームページの運営（自主事業）	
③Facebook の運用（自主事業）	
④HICE info メールによる情報配信（自主事業）	
⑤CIR NEWS の配信（自主事業）	
⑥情報カウンターの設置（市委託：多文化共生センター事業）	
⑦催し物案内ミニリーフレットの配布（自主事業）	

公益事業2

1. 日本語教育事業	22
①外国人市民を対象とした日本語教室（市委託：外国人学習支援センター事業）	
②外国人市民に日本語を教えるボランティア養成講座（市委託：外国人学習支援センター事業）	
③地域日本語学習支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	
④浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム策定事業（文化庁委託）	
2. 相談事業	28
①外国人市民のための生活相談（市委託：多文化共生センター事業）	
②ワンストップ相談コーナーの運営（他機関連携事業）	
③中国残留邦人支援事業（市委託事業）	
④法律相談（自主事業）	
⑤税務相談（自主事業）	
⑥メンタルヘルス相談（市委託事業）	
⑦ソーシャルワーク研修（市委託：多文化共生センター事業）	
⑧コミュニティ・エンパワメント（市委託：多文化共生センター事業）	
⑨生活・行政用語ポルトガル語訳標準リスト作成（自主事業・自治体国際化協会助成）	
3. 外国人子ども支援事業（市委託：外国人学習支援センター事業）	35
①外国人子ども学習支援ボランティア養成講座	
4. 地域共生推進事業（市委託：多文化共生センター事業）	35
①各地域への個別支援	
②自治会回覧文書作成	
③地域共生自治会会議	

事業実施の背景と取り組み

平成 24 年度（2012 年度）は在住外国人にとって大きな変化があった年である。国においては 7 月から新しい在留管理制度が導入されて在留カードが交付され、住民票が作成されることになった。外国人を住民登録の対象にしたことは、住民としての行政サービスがスムーズに適用される事を意味するだけでなく、外国人も日本人と同じ住民として地域で共に生活していく構成員として名実ともに受け入れるという認識につながるものである。この変更に伴い、当協会でも各国の外国人を対象とした説明会を複数回開催した。

また、浜松市においては、「多文化共生都市ビジョン」が策定されるとともに、国際シンポジウム「日韓欧多文化共生都市サミット 2012 浜松」が開催されるなど、多文化共生の取り組みに関して転換期の年でもあった。このビジョンの特徴は、在住外国人を支援の対象として捉えるのではなく、在住外国人や日本人に関わらずそれぞれの持つ文化の多様性を積極的にまちづくりに活かしていくという発想が基調となっていることである。

当協会が、2 月に主催した「第 3 回はままつグローバルフェア」では、外国にルーツを持つ若い世代が中心となり、「可能性へ向けての再出発(RESTART)」と題し、自分の体験を語り、日本育ちのブラジル人ミュージシャンによる音楽ライブを行った。このような動きは多様な文化的な背景を持つ若い世代が積極的に社会に働きかける契機となっている。

平成 24 年度の当協会の重点事項の一つは連携であった。日本語教育関連団体や外国人支援団体、外国人コミュニティとの連携強化を図るため、外国人の子どもの教育や防災など時代に応じたテーマでネットワーク会議を積極的に開催した。

先導的事業として取り組んだ「浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム策定事業」（文化庁委託事業）では、生活者としての外国人のコミュニケーション能力を評価する基準を策定した。この評価基準により日本語のコミュニケーション能力を測ることができるようになったことで、学習者の意欲を引き上げ、外国人市民のステップアップにつながることを期待される。今後は、実際の運用を重ねることで、より評価基準の精度を高め、広く普及を目指していくことが必要である。さらに、生活者としての外国人の日本語能力の特徴を調査分析し、課題を抽出したが、これらの課題解決に向けて取り組むことにより、さらなる日本語教育環境を整備することにつなげていくことが必要である。

「生活・行政用語のポルトガル語標準訳リスト作成事業」（財団法人自治体国際化協会助成）では、行政サービスを通訳・翻訳して伝える際に必要な生活用語や行政用語のポルトガル語の訳語の統一を図った。作成にあたっては、学識経験者の検討委員はもとより、行政窓口等で通訳や翻訳をする実務者からも協力を得ることで、通訳・翻訳者の研修や意識向上、関係者の連携も図った。

最後に、当年度は、当協会のミッションの明確化と中期計画の策定に向けて、職員間で議論を重ねてきた。その中で、当協会の中間支援組織としての役割や、現場の課題に即して具体的な多文化共生施策を生み出すことの重要性が確認された。今後は、その議論をまとめ、ミッションに基づく効果的な事業企画や運営、ひいては当協会の理解者の増大に向けた事業運営のあり方などを検討していくことが重要である。

平成24年度 総事業費 9,140万円

うち、浜松市からの受託収入と補助金 7,434万円 (81.3%)

公益1事業

3,783万円
(構成比 41%)
31,722人

国際交流事業
国際理解教育講座
グローバルフェア
情報提供事業

国際交流活動支援事業
ボランティア活動支援事業
外国語講座

市補助 639万円

地球人教育出前講座
多文化共生・国際交流活動支援事業
情報提供事業

市受託 2,954万円

多文化共生センター

生活相談
地域共生推進事業
ソーシャルワーク研修
コミュニティ・エンパワメント

多文化体験・交流事業
支援者のためのポルトガル語講座

市受託 2,700万円

外国人学習支援センター

日本語教室
日本語ボランティア養成
外国人子ども支援
地域日本語学習支援

公益2事業

4,529万円
(構成比 50%)
22,396人

相談事業：ワンストップ相談(求人・雇用、入国・在留、労働条件、メンタルヘルス)、中国残留邦人支援、法律相談、税務相談

市受託 1,141万円

日本語コミュニケーション能力評価システム作成

先導的 事業

生活行政用語ポルトガル語訳標準リスト作成

法人会計 828万円
(構成比 9%)

多文化共生社会の推進

事業総参加者数 54,118人

事業報告

公益事業 1 (国際理解・交流事業)

1. 国際理解教育推進事業 参加者数：延べ6,574人

①地球人教育出前講座（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（1,776人）

国際協力機構（JICA）と連携し、外国人講師や国際理解教育の専門家の講師派遣等を通じて、市内小中学校や公民館等における国際理解を推進した。

■学校への派遣

学校名	派遣人数	対象/参加者数
浜松学院中学校	5人	中学生245人
静岡大学附属中学校	1人	中学生119人
農林大学校	1人	学生100人
実践女子大学	1人	大学生120人
クラーク高校	1人	高校生15人
浜松学院大学	1人	大学生20人
葵が丘小学校	1人	小学生30人
江南中学校	1人	中学生20人
延べ8校	延べ12人	延べ669人

■公民館等への派遣

派遣先名	派遣人数	対象/参加者数
看護学校	延べ13人	看護学生延べ640人
五島公民館	1人	一般30人
新津公民館	1人	小学生30人
南陽公民館	1人	一般20名
ロータリークラブ (2団体)	3人	一般120人
職業訓練校	4人	一般22人
遠州鉄道	1人	一般27人
延べ8か所	延べ24人	延べ889人

■学校等からの訪問

訪問者	期間	訪問者数
静岡文化芸術大学	4日	延べ21人
海外日系人協会	3日	延べ68人
日本芸術大学	1日	1人
静岡大学	2日	1人
東京大学	1日	1人
愛知県国際交流協会	1日	1人
静岡県立大学	1日	1人
静岡大学附属中学校	1日	1人
慶応大学	1日	1人
常葉大学	1日	1人
茨城大学	1日	31人
知多市国際交流協会	1日	50人
日本福祉大学	1日	1人
宇都宮大学	1日	10人
聖隷クリストファー大学	1日	1人
御殿場市国際交流協会	1日	11人
静岡県議会議員	1日	10人
小平市議会議員	1日	7人
延べ18団体	延べ24日	延べ218人

②国際理解教育講座（自主事業）（224人）

■国際理解教育テーマ別ワークショップ

内 容 国際理解教育に初めて触れる人向けに、関心のあるテーマ別に行う講座。

会 場 多文化共生センター

対 象 中学生、高校生、大学生、教員、一般など国際理解教育やテーマに関心のある人

参加者 延べ107人

共 催 はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部

	第1回	第2回	第3回	第4回
テーマ	多文化共生	国際協力	人権	異文化理解
日時	6月23日（土） 13：00～17：00	7月8日（日） 13：00～17：00	8月4日（土） 13：00～17：00	8月26日（日） 13：00～17：00
参加者	27人	29人	29人	22人
合計				107人

■国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座 ～学びの好循環を生み出す～

内 容 在住外国人も多く、国際的な活動を展開する企業も多い浜松市において、真に国際理解の進んだグローバルな地域にしていくためには、人類共通の課題である多文化共生・貧困・異文化理解・環境などを自分の課題としてとらえ、解決に向けて行動を起こす人材を育てることが必須である。そのために、参加型学習という方法で実践できる人材を育てるための国際理解教育ファシリテーター養成講座を開催した。この講座受講生が、2月10日に行われたグローバルフェア内で国際理解教育ファシリテーターとして活躍した。

会 場 多文化共生センター

対 象 教員、ボランティア活動者など

参加者 延べ117人

共 催 はままつ国際理解教育ネット、JICA 中部

9月8日(土) 13:00～17:00	「コミュニケーション・参加型学習とは」 ・自己理解・他者理解～話し合う・創る・表現する～ ・「国際理解教育」と「参加型学習」	40人
10月13日(土) 13:00～17:00	「多文化共生・異文化理解」 ・自分自身の価値観をふりかえり、他者の多様性と価値観の違いを実感 ・多様なもの・こと・ひとと肯定的に出会う	24人
11月4日(日) 13:00～17:00	「環境・ファシリテーションの極意」 ・持続可能な社会をめざして 自然環境と私たち ・ファシリテーターに必要なスキルとは!?	24人
12月2日(日) 13:00～17:00	「ワークショップづくりと実践」 ・現場ですぐに使えるワークショップ ・プログラムづくりの虎の巻	29人
合計		117人

③第3回はままつグローバルフェア（自主事業）（3,738人）

目 的 ①広く市民（特に次世代を担う子ども）に呼び掛け、国際交流に参加する初めの一歩とする。また、多文化共生や国際協力について考えてもらうきっかけとする。

②市民協働により企画運営することで、市民の主体的な動きを促す。

③国際理解教育ファシリテーター養成講座の成果を発表する機会とする。

④外国にルーツを持つ若者が新しい文化を表現する場とする。

日 時 2月10日(日) 10:00 ～ 17:00

会 場 クリエイト浜松

参加者 一般市民 3,738人

主 催 公益財団法人浜松国際交流協会、はままつ国際理解教育ネット、独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA 中部）、公益財団法人浜松市文化振興財団（クリエート浜松）

後 援 浜松市、浜松市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、NHK静岡放送局、静岡朝日テレビ

内 容

1階 World Market Zone ワールド・マーケット・ゾーン			
会場	内容	担当	詳細
ふれあい広場	物品販売・ブース出展	HICE、 はま国ネット	フェアトレード商品、国際交流や多文化共生に関する活動紹介、物品販売。19 団体参加。
喫茶コーナーの脇壁面	団体活動紹介展示		市民団体等による、模造紙 1 枚程度の展示で、国際交流や多文化共生に関する活動を紹介。11 団体参加。
ふれあい広場奥の壁面	「平和」壁画展示アートマイル	JICA	「平和」をテーマにザンビア・グアテマラ・カザフスタン・フィジー・パキスタン・日本の子どもたちが共同で製作した壁画を展示。
ふれあい広場	TV 電話で世界をつなぐ	JICA	ブラジルとウガンダで活躍する JICA ボランティアと TV 電話。世界の「今」を感じてもらった。 JICA ボランティアの体験談（パプアニューギニア、チュニジア）
2階 World Stage Zone ワールド・ステージ・ゾーン			
ホール	開会式・表彰式	HICE、 はま国ネット	10:00—11:00 開会式・表彰式 絵画コンクール「世界のみんなといっしょに」 作文コンクール「このまちから国際理解を広めよう」
	パネルディスカッション コンサート	HICE、 はま国ネット	11:00—13:00 「可能性へ向けての再出発 RESTART」 ブラジル・ペルー・フィリピン・ベトナムにルーツを持つ若者による体験談の発表とブラジルにルーツを持つ若者ミュージシャン SUNCHILD によるライブ演奏。
	国際協カステージ	JICA	13:30—15:00 鳥越俊太郎 講演会 「今、世界に私たちができること」
	ワールドステージ	HICE、 はま国ネット	16:00—17:00 各国の音楽・踊りのステージ マトリョーシカ型の楽器マトリョミンの演奏、フィリピンのダンス、ジャンベの演奏、和太鼓の演奏
アトリエ	ものづくり体験教室	HICE、 はま国ネット	「フェアトレードビーズでストラップづくり」 「粘土キャンドルで動物づくり」 「化石のレプリカづくり」
4階 World Food Zone ワールド・フード・ゾーン			
踊り場スペース	世界の料理	HICE、 はま国ネット	ブラジル、ペルー、インドネシア、フィリピン、オーストラリア

5階 Workshop Zone ワークショップ・ゾーン			
セミナー ーム	国際理解教 育ワークシ ョップ	はま国ネ ット・ク リエート 浜松	10:00—12:00 国際理解教育ワークショップ 「国際協力」「異文化理解」「世界とのつながり」 13:30—15:30 世界の楽器を体験 マトリョミンなどを体験演奏
和室	日本文化体 験	クリエー ト浜松	日本の着物の着付け体験と十二単や帯結びの着物ミニシ ョーを開催。 (ハクビ京都きもの学院静岡校提供)

④多文化体験・交流事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）（836人）

■海外文化 会場：外国人学習支援センター

4月23日～3月27日 月曜日、水曜日 全10回 延べ195人	フィリピン食文化、太極拳、英語で遊ぼう、インドの朝食 韓国食文化、ブラジルの定番の軽食、ブラジルの手芸 ココナツ・オイル作りとミクロネシアのお話 インドネシア・バティック体験 タイ・トロピカルフルーツのミニチュア粘土細工
---	--

■日本文化 会場：外国人学習支援センター

5月16日～1月23日 月曜日、水曜日 全10回 延べ172人	日本舞踊、田植え、ゆかた着付け、生け花、押し絵の壁飾り 稲刈り・わらストロー、クリスマスの生け花 そば打ちと試食体験
---	--

■多文化イベント 会場：外国人学習支援センター

	第1回	第2回	第3回	第4回
テーマ	フェスタジュニーナ (ブラジルの収穫祭)	Wild Bunch の英語シ ョーで楽しく英語を 学んじゃおう！	防災フェア	ワールドクラフト フェア (世界の手芸)
開催日	6月17日(日)	8月5日(日)	10月20日(土)	2月17日(日)
協力	セメンチ パラ オ フトウーロ	Wild Bunch	西消防署、危機管 理課、NPO 法人はま まつ子育てネット ワークびっぴ	NPO 法人コミュニ ケーションスペー ス、アハゴン・ア デライズ、ササキ タニア、フォン
参加者	120人	135人	119人	95人
合計				469人

2. 外国語講座事業 参加者数：延べ 2,033 人

①国際交流のための外国語講座（自主事業）（192 人） 会場：多文化共生センター

■国際交流のための中国語講座：初級・実用会話（全 8 回）

講師	趙驕陽（ちょうきょうよう）		
日程	火曜日 19：00～20：30		
第 1 期	5 月 8 日～6 月 26 日	受講者 合計 27 人	8 人
第 2 期	10 月 9 日～11 月 27 日		9 人
第 3 期	1 月 22 日～3 月 12 日		10 人

■国際交流のための中国語講座：中級・初級（全 8 回）

講師	湯暁憶（たんしょうい）		
日程	第 1 期 火曜日 19:00～20:30、第 2・3 期 金曜日 19：00～20：30		
第 1 期	5 月 8 日～6 月 26 日	受講者 合計 10 人	5 人
第 2 期	10 月 12 日～12 月 7 日		5 人

■国際交流のためのインドネシア語講座：初級（全 8 回）

講師	アストリット		
日程	水曜日 19：00～20：30		
第 1 期	5 月 9 日～6 月 27 日	受講者 合計 18 人	7 人
第 2 期	10 月 10 日～11 月 28 日		6 人
第 3 期	1 月 23 日～3 月 13 日		5 人

■国際交流のための英語講座：中級（全 8 回）

講師	キャロル・チェン、パトリック・アハーン、ペターセン・ジェフリー、 ダアビッド・マーテル		
日程	火曜日 10：00～11：30、木曜日 19：00～20：30		
第 1 期	5 月 8 日～6 月 26 日（昼）	受講者 合計 65 人	12 人
	5 月 10 日～6 月 28 日（夜）		16 人
第 2 期	10 月 9 日～11 月 27 日（昼）		6 人
	10 月 11 日～11 月 29 日（夜）		10 人
第 3 期	1 月 22 日～3 月 12 日（昼）		7 人
	1 月 24 日～3 月 14 日（夜）		14 人

■国際交流のためのスペイン語講座：初級（全8回）

講師	遠藤明美		
日程	金曜日 19:00～20:30		
第1期	5月11日～6月29日	受講者 合計40人	16人
第2期	10月12日～12月7日		9人
第3期	1月25日～3月15日		15人

■国際交流のためのポルトガル語講座：中級（全8回）

講師	鈴木益子		
日程	土曜日 10:00～11:30		
第1期	5月12日～6月30日	受講者 合計19人	9人
第2期	10月13日～12月8日		5人
第3期	1月26日～3月16日		5人

■国際交流のためのベトナム語講座：初級（全8回）

講師	チャン・クアン・ズン		
日程	月曜日 19:00～20:30		
第1期	6月6日～7月25日	受講者 合計13人	9人
第2期	1月23日～3月13日		4人

②国際交流のための外国語サロン（自主事業）（404人） 会場：多文化共生センター

■各国語サロン：中級以上

講座名	中国語で学ぶ中国の現在	スペイン語サロン	ポルトガル語サロン	Let's E-会話
開催日	4月～1月 月1回 土曜日 10:00～11:30	4月～11月 月1回 日曜日 14:00～15:30	7月、12月、3月 土曜日 10:00～11:30	4月～3月 月1回 日曜日 13:30～15:30
回数	9回	7回	3回	12回
参加者	延べ66人	延べ48人	延べ34人	延べ188人
合計				336人

■英語で学ぶ国際社交術：中級以上

講師	ウエイン ダブ (Management Executive)		
テーマ	物事を先送りにしない方法／人生と仕事を前向きに生きるには？／あなたの人生や仕事を前向きなパワーで進める 10 の法則／自分をコントロールして成功する方法／切り替えをうまくやるには		
日程	日曜日 10：00～12：00 (4月8日、5月13日、6月3日、7月1日、9月2日、11月4日)		
回数	4月～11月 全6回	参加者	延べ68人

③外国人支援者のためのポルトガル語講座 会場：外国人学習支援センター
(市委託；浜松市外国人学習支援センター事業) (1,437人)

協力団体 Semente para o Futuro (将来のためのたね)

基礎～初級レベルのポルトガル語会話とブラジル文化を学ぶ

	日程	参加者
1期	5月8日～7月24日(11回) 火曜コース 19:00～20:30	284人
	5月10日～7月19日(11回) 木曜コース 19:00～20:30	246人
2期	9月4日～11月13日(11回) 火曜コース 19:00～20:30	206人
	9月6日～11月15日(11回) 木曜コース 19:00～20:30	213人
3期	1月8日～3月19日(11回) 火曜コース 19:00～20:30	164人
	1月10日～3月21日(11回) 木曜コース 19:00～20:30	184人
夏季集中講座	8月6日(月) 9:20～16:40 4講座	72人
教員対象	8月8日(水) 9:20～16:40 4講座	68人
合計		1,437人

3. 国際交流事業(自主事業) **参加者数：延べ923人**

①ちゃんぷるインドネシア共催事業(172人)

日時	5月26日(土) 13：30～15：30	10月7日(日) 11：00～17：00	1月19日(土) 13：30～15：30	3月16日(土) 13：30～15：30
場所	多文化共生センター			
内容	「日本に住むインドネシア人に聞いてみた！日本でのイスラム教の実践」	まるごと体感！インドネシア～インドネシア文化祭～	インドネシアの子育て体験談	インドネシアの家庭料理を作ろう
参加者	10人	108人	21人	33人
合計				172人

②ワールドゆかたおしゃれコンテストへの出場者コーディネート（27人）

日 時 7月8日(日)

場 所 浜松市ギャラリーモール「ソラモ」

内 容 「YUKATA フェスタはままつ」で開催される「おしゃれゆかたコンテスト」への外国人参加者の募集、着付け等を行った。

参加者 17人

ボランティア：運営3人、着付け4人、通訳3人 合計10人

③ブラジルの魅力（41人）

日 時 7月22日(日) 14:00～16:00

場 所 多文化共生センター

内 容 ブラジルの国立公園の魅力、アマゾンの料理・観光など

講 師 エデゥアルド・フェルナンデス 在浜松ブラジル総領事館副総領事
逸見薫 (株)ツニブラトラベル 取締役

参加者 41人

共 催 (株)ツニブラトラベル

後 援 在浜松ブラジル総領事館

④親子でまち歩き（19人）

浜松のまちなかにあるブラジルスポットを親子で見学。

日 時 7月25日(水) 10:00～13:00

内 容 ポルトガル語ミニ会話練習、日本とブラジルの関係についてのお話

在浜松ブラジル総領事館、ブラジル銀行、ブラジル・レストラン・セルヴィツォを訪問

参加者 9組19人

⑤親子で English（108人）

日本人・フィリピン人の3歳から7歳までの子ども連れの親子が歌やゲームを通して楽しく英語に親しみながら参加者どうしの交流も行った。

日 時	7月29日(日) 10:00～12:00	10月28日(日) 10:00～12:00	11月25日(日) 10:00～12:00	12月9日(日) 10:00～12:00
場 所	多文化共生センター			
講師	Filipino English Teachers in Japan(FETJ)			
参加者	9組26人	17組36人	14組30人	8組16人
合計				48組108人

⑥感謝の集い（85人）

HICEの会員及びボランティアを対象に、日頃の支援・協力への感謝の意を込めて行った交流会。

日 時 9月15日(土) 18:00～20:00

場 所 ブラジル・レストラン「セルヴィツー」

内 容 ブラジル料理とブラジル音楽で交流の一時を楽しんでもらうと同時に、HICE活動について中間報告を行った。

参加者 85人

⑦ブラジルポピュラーミュージックの旅 2012（395人）

日 時 10月6日(土) 17:00～19:00

場 所 クリエイト浜松（2階ホール）

内 容 ブラジル人ミュージシャンによる、様々なジャンルのブラジル音楽の紹介

参加者 395人

共 催 在浜松ブラジル総領事館

協 賛 ブラジル銀行浜松支店、SUZAN、BRASEL、CAIXA ブラジル連邦貯蓄銀行、ツニブラトラベル

⑧ポルトガル語スピーチコンテスト（56人）

日 時 11月11日(日) 14:00～17:00

場 所 多文化共生センター

内 容 3分以内の自作のポルトガル語スピーチを披露、上位3位を決定、ブラジル総領事館より表彰

参加者 発表者16人、聴衆20人、審査員等関係者20人 合計56人

共 催 在浜松ブラジル総領事館

協 賛 ブラジル銀行浜松支店

⑨行ってみたい 아일랜드（20人）

アイルランドの祝祭日「セント・パトリックス・デー」を中心に、アイルランドの文化を紹介。

日 時 3月17日(日) 10:00～11:30

講 師 リック・アハーン（C I R）

内 容 パワーポイントによるアイルランドの紹介・祝祭日「セント・パトリックス・デー」・アイルランドの紅茶とビスケットの試食

参加者 20人

4. ボランティア活動支援事業（自主事業） 参加者数：延べ1,060人

①HICE ボランティアバンクの運営（1,023人）

通訳・翻訳、日本語教育、ホームステイ、イベント、言語文化紹介、地球人教育に関する市民ボランティアの活動を推進した。

＜ボランティアバンク登録人数＞ 7区分

地球人教育ボランティア	44人
専門知識提供ボランティア	124人
通訳・翻訳ボランティア	226人
日本語教師ボランティア	239人
ホームステイ・ボランティア	126人
情報提供ボランティア	83人
事業ボランティア	181人

合計： 延べ1,023人

②ホームステイ・コーディネート（37人）

■「ザ・ヤングアメリカンズ アジアンツアー2012 夏」にホームステイボランティア紹介

依頼者 株式会社サーラコーポレーション

期 間 6月8日～11日（3泊4日）

紹介数 10家庭

■日本語学校生徒の日本の家庭へのホームステイをコーディネート

依頼者 静岡理工科大学 浜松日本語学院

期 間 7月28日（土）～29日（日）

ホームビジット（日帰り）3件 ホームステイ（1泊）5件

参加者 留学生 8人 ホスト 7家庭

■静岡大学留学生の日本の家庭へのホームステイをコーディネート

依頼者 静岡大学 国際交流センター

期 間 11月16日（金）～19日（日） 2泊3日

参加者 留学生 6人 ホスト 6家庭

5. 国際交流活動支援事業 参加者数：延べ 12,130 人 17 件

①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の交付

浜松市内で活動する多文化共生・国際交流関係団体を支援するため、多文化共生・国際交流推進事業費補助金を交付した。

多文化共生・国際交流推進事業費補助金交付額 6,385,900 円 (単位:円)

	対象事業	主催団体	交付額
1	第 2 回梅花杯中国語スピーチコンテスト	中国文化交流会	100,000
2	米国ワシントン州キャマス市との交流事業	細江町国際交流協会	100,000
3	在住外国人との料理交流フェア	細江町国際交流協会	100,000
4	第 14 回国際親善少年サッカー大会 細江大会	国際親善少年サッカー大会 実行委員会	100,000
5	外国人ママと子どものための日本語教室 「親子で日本語」	一般社団法人 グローバル人財サポート浜松	250,000
6	日中食文化の集い	NPO法人浜松日中文化交流会	70,000
7	日中友好交流事業	浜松市浜北日中友好協会	100,000
8	浜松少年少女合唱団 ドイツ演奏旅行国内練習	浜松少年少女合唱団	150,000
9	中国を知り、そして理解の為の学習会	天竜日中友好協会	100,000
10	医療保健支援活動(情報等)の 多言語化構築事業	ブリッジハートセンター東海	250,000
11	外国人学校の児童生徒を対象とした ヘルスケア事業	ブリッジハートセンター東海	200,000
12	外国にルーツを持つ子どもたちへの 学習支援	外国人子どもサポーターズクラブ	300,000
13	日本語学習支援	いなさ日本語教室	66,000
14	外国人児童のための初期日本語支援 および学習補助支援	そらの会	100,000
15	宇宙のメロディア	宇宙のメロディア	150,000
16	外国籍児童生徒への日本語教育 と学習支援	龍の会	299,900
17	外国籍児童就学促進事業	WISH	400,000

18	アラッセ 希望	NPO法人ARACE	400,000
19	ブラジルのカメラータ	ブラジルのカメラータ	150,000
20	中国人のための日本語勉強会	中国文化交流会	150,000
21	外国人市民自立のための日本語学習支援	NPO法人 浜松日本語日本文化研究会	400,000
22	ジャボラ日本語教室	NPO法人 日本語教育ボランティア協会	400,000
23	日本語及び防災学習特別企画	NPO法人AIPEACE	300,000
24	地域の多様なニーズに応じた多文化共生 日本語教育事業	多文化共生をめざす会	300,000
25	サンバチーム育成・ブラジル文化交流活動	NPO法人 ブラジル文化交流振興会	200,000
26	中国春節の集い(国際交流)	NPO法人 浜松日中文化交流会	180,000
27	在浜松ブラジル人児童向け日本語教室	NPO法人 ブラジルふれあい会	285,000
28	外国をルーツとする子どもと保護者のための 進学ガイダンス 2012	NPO法人 浜松NPOネットワークセンター	170,000
29	日伯高校生交流キャンプ	Minority Youth Japan	46,000
30	フィリピン人青年教育支援事業	NPO法人 フィリピンナガイサ	243,000
31	国際交流活動事業	NPO法人 フィリピンナガイサ	138,000
32	地域の多様なニーズに応じた多文化共生 日本語教育事業	多文化共生をめざす会	188,000
合計			6,385,900

②地域日本語推進事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）（931人）

浜北地区での日本語教育支援を浜北国際交流協会に委託して行った。

期 間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

場 所 浜北文化センター（浜北区貴布祢）

水・土曜日 19:30～21:00 全135回

受講者 延べ931人

③天竜地域事業（353人）

■日本語教室（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）

期 間 平成24年4月8日～平成25年3月31日

日曜日 10:00～11:30 全40回

会 場 二俣公民館（天竜区二俣町）

内 容 会話クラス、漢字クラス、日本語能力試験受験クラス

受講者 延べ223人

■英会話教室（自主事業）

会 場 二俣公民館（天竜区二俣町） 光明ふれあいセンター（天竜区山東）

各コース22回 受講者 34人	初級 (火) 19:30～21:00	中級 (木) 19:30～21:00	上級 (木) 19:30～21:00
前期4月10日～9月27日	5人	7人	5人
後期10月9日～3月28日	5人	7人	5人
合計			34人

■国際交流のつどい（自主事業）

日 時 6月10日（日）10:40～12:45

場 所 二俣公民館（天竜区二俣町）

内 容 「外国の文化を知ろう」というテーマで、タイ・ミャンマー・インドネシアの方より文化紹介とインドネシア・バリ島の民族舞踊を披露していただき交流を図った。

参加者 47人

■天竜ふたまたの食と蔵の街めぐり（自主事業）

日 時 10月14日（日）10:00～14:00

場 所 天竜区二俣町地内

内 容 「天竜二俣の歴史と食を知ろう」というテーマで、古い街並みを探索しながら、二俣名物のだんご・餃子・焼そばなどを味わう行程約4kmのウォーキングを楽しんだ。

参加者 23人（タイ・ミャンマー・中国・日本）

■にほんの食文化 そば打ち体験（自主事業）

日 時 11月18日（日）10:00～14:00

場 所 二俣公民館（天竜区二俣町）

講 師 そば打ちグループ「浜松魅惑のSOBA 楽飲」

内 容 日本の伝統食であるそば打ちと試食を行い、参加者どうしの交流をはかった。

参加者 26人（タイ・ミャンマー・インドネシア・中国・ブラジル・日本）

④セミナールームの活用（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（10,744人）

セミナールームをオープンルームとして一般に公開するとともに講座・セミナー等の事業活動に利用した。

年間利用者数 10,744人

⑤多文化共生・国際交流活動支援事業（市委託；浜松市多文化共生センター事業）
（102人17件）

■活動者のための多文化共生講座

「外国語通訳ボランティア研修会」

日時 8月5日(日) 13:30～16:30

場所 多文化共生センター

内容 「通訳ボランティアの役割と通訳技法を学ぶ～災害時の通訳～」

講師：内藤稔（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター特任講師）

共催 公益財団法人静岡県国際交流協会

参加者 42人

■多文化共生・国際交流・国際協力の活動団体とのネットワーク化事業

「国際交流・多文化共生情報交換会」

日時 5月27日(日) 10:00～12:00

場所 多文化共生センター

内容 ①多文化共生・国際交流推進事業費補助金の説明

②各団体の活動紹介・交流

参加者 25団体30人 関係者4人 合計34人

「防災対策・災害時協力体制 連携会議」

日時 12月16日(日) 14:00～16:00

場所 多文化共生センター

内容 ①浜松市の外国人住民に関する防災対策について

②協働体制の整備について

③各団体からの報告・情報提供

共催 公益財団法人静岡県国際交流協会

参加者 16団体18人 関係者8人 合計26人

■多文化共生活動コーディネート（17件）

①在住インドネシア人と日本人のグループ（ちゃんぷるインドネシア）の活動を支援

在住インドネシア人と日本人のグループ「ちゃんぷるインドネシア」が日本人にインドネシアを理解してもらうための活動を支援。合計4回のセミナーとイベントの開催を支援。

②フィリピン人の英語の先生のグループ（Filipinos English Teachers in Japan:FETJ）の活動を支援

日本人・フィリピン人の3歳から7歳までの子ども連れの子を対象に、歌やゲームを通して楽しく英語に親しみながら参加者どうしの交流を行う会「親子でEnglish」の開催を4回支援。

③国際理解教育活動を進める市民グループ（はままつ国際理解教育ネット）の活動を支援

中学生以上の一般向けの「国際理解教育ワークショップ」の開催や、担い手となる人材育成のための「国際理解教育ファシリテーター養成講座」の開催を8回支援。

④ネパール人コミュニティの構築を支援

在住ネパール人コミュニティをつくりたいという在住ネパール人の相談に対応。（12月2日）

6. 情報提供事業 **提供者数：延べ9,002人**（情報カウンターでの提供数のみ計上）

①機関紙 HICE NEWS の発行（自主事業）

発行部数：日本語版 2500部 ポルトガル語版 2300部 英語 900部 合計 5,700部
発行回数：毎月1日発行 年11回

②ホームページの運営（自主事業）

ホームページアクセス合計数 170,027件

HICE ホームページ（日本語、ポルトガル語、英語）

浜松市多文化共生センターホームページ（日本語、ポルトガル語、英語、中国語）

浜松市外国人学習支援センターホームページ（日本語、ポルトガル語、英語、中国語）

③Facebook の運用（自主事業）

「いいね」合計数 440件

助成 財団法人自治体国際化協会

④HICE info メールによる情報配信（自主事業）

会員・ボランティア等に情報を配信。年間43回配信。

配信先 1,173人

助成 財団法人自治体国際化協会

⑤CIR NEWSの配信（自主事業）

国際交流員（CIR）による英語・日本語併記の文化紹介メールマガジンを毎月配信
配信先 628人

⑥情報カウンターの設置（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（9,002人）

情報カウンターにボランティアを配置し、外国人市民・日本人市民に対し、必要な情報を提供。

延べ提供数 外国人4,870人 日本人3,148人 合計8,018人

年間ボランティア配置 延べ984人

⑦催し物案内ミニリーフレットの配布（自主事業）

夏号・秋号・冬号 各3,000部配布

HICEボランティアの皆さん等の協力により、公共施設とともに店舗・ロコミにより広く配布を行った。

公益事業2 (在住外国人支援)

1. 日本語教育事業 参加者数：延べ8,729人2件

①外国人市民を対象とした日本語教室（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）
(5,493人)

在住外国人に対して日本語支援を行う地域日本語教室。ひらがな、カタカナ、初級レベルの漢字を学ぶかな・漢字クラスと、日常生活を行う上で必要な日本語コミュニケーション能力を学ぶ会話クラスを開催。

協働団体：With U-Net（日本語ボランティア有志の会）

■会話クラス、かな・漢字クラス（5,108人）

第1期		(受講者数 述べ2,205人)		
講座名		回数	日付	受講者数
かな・漢字 クラス	ひらがな・カタカナ	10	5月8日～7月10日	167人
	生活漢字	20	5月9日～7月13日	383人
	検定漢字	20	5月30日～8月8日	312人
会話 クラス	レベル0	24	5月8日～7月27日	418人
	レベル1	24	5月9日～7月27日	289人
	レベル2	24	5月7日～7月30日	396人
	レベル3	24	5月9日～7月27日	240人

第2期		(受講者数 述べ1,518人)		
講座名		回数	日付	受講者数
かな・漢字 クラス	ひらがな・カタカナ	10	9月4日～11月6日	134人
	生活漢字	20	9月7日～11月14日	130人
	検定漢字	20	9月3日～11月14日	339人
会話 クラス	レベル0	24	8月24日～11月13日	279人
	レベル1	24	8月24日～11月14日	271人
	レベル2	24	8月20日～11月14日	169人
	レベル3	24	8月24日～11月14日	196人

第3期		(受講者数 述べ1,385人)		
講座名		回数	日付	受講者数
かな・漢字 クラス	ひらがな・カタカナ	10	1月8日～3月12日	93人
	生活漢字	20	1月9日～3月15日	134人
	検定漢字	20	1月7日～3月25日	234人

会話 クラス	レベル0	24	12月11日～3月19日	200人
	レベル1	24	12月12日～3月22日	257人
	レベル2	24	12月10日～3月25日	274人
	レベル3	24	12月12日～3月22日	193人

■日本語能力検定試験対策クラス（385人）

第1期	(受講者数 述べ286人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
日本語 能力試験 クラス	N3	20	7月11日～11月28日	135人
	N4	20	6月18日～11月26日	151人

第2期 (前期)	(受講者数 述べ99人)			
	講座名	回数	日付	受講者数
日本語 能力試験 クラス	N3	10	1月9日～3月13日	29人
	N4	10	1月7日～3月25日	70人

②外国人市民に日本語を教えるボランティア養成講座

(市委託；浜松市外国人学習支援センター事業) (2,649人)

■日本語ボランティア養成講座

地域における日本語学習支援で必要とされる知識や技術を学ぶボランティア養成講座を開催。

協働団体 ネクスト

全20回／各期 年2期 1期につき2コース開催

	期間	受講者数
1期	オリエンテーション4月27日	22人
	5月8日～9月21日	353人
2期	オリエンテーション10月16日	21人
	10月19日～3月15日	378人
合計		774人

プログラム例：「日本語」と「国語」、異文化理解、外国語体験、使える日本語、修了生の声、
教案作り、模擬授業、模擬授業ふりかえり

■日本語ボランティア実地研修

With U-Net、日本語ボランティア養成講座受講生が教授技術向上を目指し、日本語教室の見学及び振り返りを行った。

参加者数 1,219人

■日本語ボランティアのための基礎文法講座

日本語ボランティアを対象とした日本語文法の基礎知識を学ぶ講座

期 間		受講者
1期	9月24日～9月28日	153人
2期	3月18日～3月25日	102人
合計		255人

■日本語ボランティアスキルアップ講座

日本語ボランティア養成講座修了生を対象に本講座を実施し、活動者のスキルアップを図った。

全12回 受講者 延べ401人

回	日時	内容	講師	受講者数
1	4月12日(木) 11:00～12:30	日本語ボランティアのための教案作成講座	森本 満寿美 (With U-Net)	14人
2	4月25日(水) 10:30～12:00	地域で活かそう！できる日本語①	嶋田 和子 (一般社団法人アクラス 日本語教育研究所代 表理事)	31人
3	4月25日(水) 13:00～14:30	地域で活かそう！できる日本語②	嶋田 和子 (一般社団法人アクラス 日本語教育研究所代 表理事)	28人
4	4月26日(木) 10:30～12:00	地域で活かそう！できる日本語③	嶋田 和子 (一般社団法人アクラス 日本語教育研究所代 表理事)	31人
5	6月14日(木) 10:30～12:00	あなたの教室が活性化！ファシリテーションの力	西野 靖恵 (浜松ファシリテーション 研究会)	24人
6	8月30日(木) 10:30～12:00	地域を支えるやさしい日本語	米勢 治子 (東海日本語ネットワー ク副代表)	42人
7	10月25日(木) 10:30～12:00	「生活者としての外国人に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案」を読み解く	増田 麻美子 (文化庁文化語部国語 課)	39人
8	1月21日(月) 13:00～14:30	OPIから学ぶ発話を引き出す授業	鎌田 修 (南山大学人文学部日 本文化学科教授)	29人

9	1月21日(月) 14:45～16:15	OPIから学ぶ発話を引き出す授業	鎌田 修 (南山大学人文学部日 本文化学科教授)	27人
10	3月7日(木) 13:00～14:30	大阪から学ぶ「識字教育」と「日本語 教育」	田村 幸子 (おおさか識字・日本語 センター事務局長)	43人
11	3月20日(木) 13:00～14:30	移動する子どもたちの「言葉の力」 ～JSL バンドスケールの可能性～	川上 郁雄 (早稲田大学大学院日 本語教育研究科教授)	47人
12	3月20日(木) 14:45～16:15	移動する子どもたちの「言葉の力」 ～JSL バンドスケールの可能性～	川上 郁雄 (早稲田大学大学院日 本語教育研究科教授)	46人
合計				401人

③地域日本語学習支援事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）（459人）

■日本語学習支援団体ネットワーク会議

日本語学習支援団体間の情報の共有や共通課題の克服のためにネットワーク会議を開催した。

参加団体 21団体

回	日時	内容	参加者数
1	5月11日(金) 14:00～15:30	団体自己紹介 ネットワークメーリングリスト発足	22人
2	9月6日(木) 13:30～15:00	団体の課題をグループディスカッション	9人
3	11月23日(金) 13:00～14:15	活動のポスター発表、ブース出展	16人
4	3月20日(水) 16:20～17:00	JSL バンドスケール講師との交流会	16人
合計			63人

■日本語学習支援のための多文化共生講座

日本語学習支援活動をしている方を対象とした講座。日本語教育に関する知識だけでなく、ネットワーク会議で上がった課題解決や、多文化共生社会実現のために必要とされる幅広い知見を得るための講座。

全6回 受講者 延べ230人

回	日時	講師	内容	参加者数
1	5月24日(木) 10:30～12:00	大嶋チット 吉留富子	浜松における外国人のメンタルヘルスの現状	28人
2	8月30日(木) 10:00～12:30	米勢 治子 (東海日本語ネット ワーク)	地域を支えるやさしい日本語	41人

3	10月11日(木) 10:30~12:00	松本 雅美 (学校法人ムンド・ デ・アレグリア)	外国人学校を知ろう ～ムンドデアレグリア学校の 事例から～	40人
4	11月23日(金) 10:00~12:00	尾崎 明人 (名古屋外国語大 学・日本語教育学会)	日本語学習成果発表会・基調講演 「これからの地域日本語教育 ～支援に関わる人材と学習支援 センターの可能性～」	52人
5	11月23日(金) 14:30~16:30	With U-Net	日本語学習成果発表会・ U-ToC 日本語教室見学会	38人
6	1月31日(木) 10:30~12:00	藤原 孝章 (同志社女子大学)	外国にルーツを持つ子どもたちへ の教育を考えよう ～シミュレーション教材 「ひょうたん島問題」から～	31人
合計				230人

■地域日本語学習コーディネート業務 (166人2件)

養成講座修了生による自主グループの立ち上げを支援した。

- ・「おしゃべりクラス」立ち上げ支援
「おしゃべりクラス」16回開催 延べ166人参加
- ・「引佐日本語教室」立ち上げ支援

④浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム策定事業(文化庁委託)(128人)
(自主事業)

浜松に住む生活者としての外国人を「主婦・主夫」と「就労者・求職者」に大きく分け、彼らの学習動機を喚起しエンパワメントにつなげ、また目に見える評価をもとに日本語学習支援の周知や理解を地域へ広げていくことを目的とした日本語コミュニケーション能力テストと評価基準を策定した。

運営委員会 運営委員 6人 4回開催

ワーキンググループ 8人 延べ42回開催

成果物 ひらがな・カタカナテスト、安全標識語彙テスト

コミュニケーション能力インタビュー、コミュニケーション能力評価基準表
タスクテスト

研修 全19回

研修内容

回数	取組のテーマ	授業概要	講師	参加者数
1.2	RHQ 支援センターでの日本語評価基準を学ぶ	大和定住促進センターや国際救援センター、RHQ 支援センターで30年余に渡り行われてきた難民への日本語教育プログラムを学び、日本語評価基準策定に活かす	内藤 真知子氏 (公益社団法人国際日本語普及協会専務理事)	13人
3.4	中国帰国者定着促進センターでの日本語評価基準を学ぶ	中国帰国者定着促進センターで開発された中国帰国者コミュニケーション水準及び判定テストの内容、活用方法等、具体例を交えて学ぶ	小川 珠子氏 (中国帰国者定着促進センター教務部教務第2係長)	11人
5.6	企業内日本語教室からコミュニケーション能力を考える	企業内日本語教室活動から、働く上でのコミュニケーションに必要な能力とは何かを考える	山屋 宏氏 (県立浜松城北工業高校・企業派遣講師) 柳澤 好昭氏 (明海大学教授)	13人
7.8	企業における人事考課から能力判定を考える	企業における職務遂行能力と日本語能力について、その開発の経緯や活用方法について学ぶ	柳澤 好昭氏 (明海大学教授)	13人

9. 10	OPI の見地から日本語能力判定を考える	浜松市外国人学習支援センターにおいて、学習者の口頭能力を判定するにあたり参考にしている OPI。OPI の見地から日本語能力判定を考える	嶋田 和子氏 (一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事)	15 人
11. 12	多文化社会型居場所感尺度から能力判定を考える	多文化社会型居場所感尺度の結果を踏まえながら、日本語教室の在り方や、能力評価の活用方法について学ぶ	石塚 昌保氏 (四谷ゆいクリニック臨床心理士)	15 人
13. 14	実践研修	「生活者としての外国人」に対する日本語教育における日本語能力評価についての活用方法を考える	嶋田 和子氏 (一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事)	7 人
15. 16	実践研修	浜松版日本語コミュニケーション能力評価の基準について	柳澤 好昭氏 (明海大学教授)	9 人
17. 18	実践研修	浜松版日本語コミュニケーション能力評価基準の具体化について	嶋田 和子氏 (一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事)	7 人
19	実践研修	浜松版日本語コミュニケーション能力評価基準の教室活動への活用について	嶋田 和子氏 (一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表理事)	11 人
合計				114 人

2. 相談事業 参加者数：延べ 13,351 人

①外国人市民のための生活相談（市委託；浜松市多文化共生センター事業）

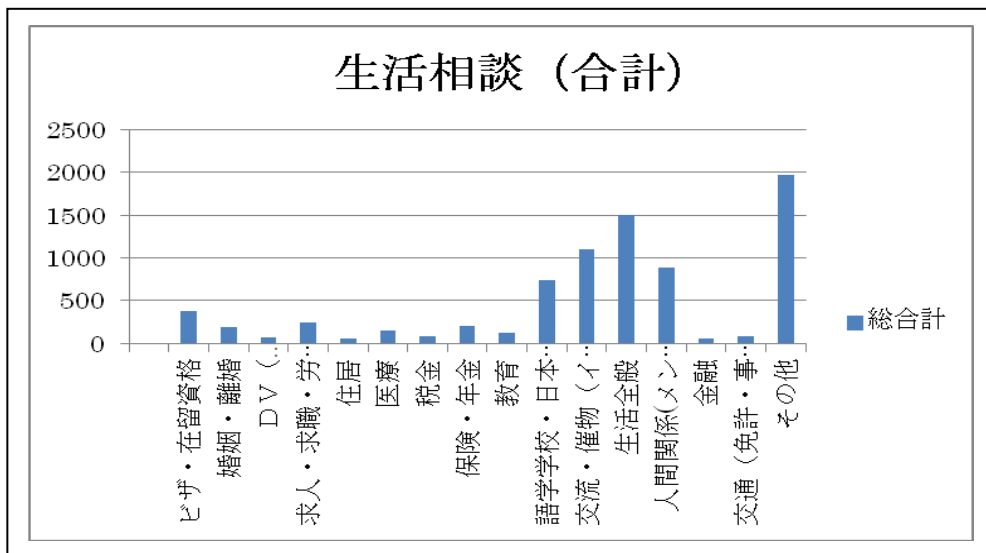
(7,830 件)

言語	曜日	時間	件数
ポルトガル語	月曜日～日曜日	9：00～17：00	4,245 件
中国語	火曜日	13：00～17：00	171 件
スペイン語	水曜日	13：00～17：00	240 件
タガログ語	木曜日	13：00～17：00	581 件
英語	火曜日～金曜日	13：30～16：30	152 件
日本語	月曜日～日曜日	9：00～17：30	2,441 件
合計			7,830 件

【相談内容・傾向】

平成 24 年度の特徴としては、7 月の在留制度変更に伴う相談が多かったことである。具体的には、日本語能力の証明や離婚後のビザの更新、在留カードについてなどである。

その他、外国人の定住化傾向が進むことにより、生活者としての多様な側面に応じて相談内容も多様化しており、「生活全般」「その他」に分類されるケースが多くなっている。



ビザ・在留資格	婚姻・離婚	DV	求人・求職・労働問題	住居	医療	税金	保険・年金	教育	語学学校・日本語教室	交流・催物	生活全般	人間関係(メンタル)	金融	交通(免許・事故等)	その他	合計
377	185	72	239	60	154	90	204	118	734	1106	1501	883	53	82	1972	7830

②ワンストップ相談コーナーの運営（他機関連携事業）(2,429 件)

ハローワーク、労働基準監督署、入国管理局、東海大学・ブラジルマットグロッソ大学教員養成プロジェクトと連携して、それぞれ専門相談の窓口を配置した。

相談件数：延べ 2,429 件

ハローワーク	1,989 件
労働基準監督署	16 件
入国管理局	254 件
ブラジル教育相談	170 件
合計	2,429 件

③中国残留邦人支援事業（市委託事業）（445 件）

中国在留邦人とその配偶者で、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対し生活支援費を給付する際の業務補助、相談、通訳等の支援のために、相談員及び通訳を配置または派遣した。

■市内区役所（中・南・東・北）の福祉事務所に中国語による支援相談員 1 人を配置

日 時 週 4 日 13:00～17:00

相談内容 日常生活、子どもの教育問題、日本語学習、就労相談など

相談件数 延べ 368 件

対 象 13 世帯 20 人

■医療機関等へ通訳を派遣

件 数 延べ 77 件

対 象 15 世帯 46 人

④法律相談（自主事業）（64 人）

毎月第 4 木曜日に弁護士による法律相談を行った（12 月を除く 全 11 回）。

相談者数 延べ 64 人

協 力 静岡県弁護士会、関東弁護士連合会（11 月の拡大法律相談）

⑤税務相談（自主事業）（22 人）

日 時 平成 25 年 2 月 1 日（金）9:30～16:30

内 容 確定申告を必要とする外国人を対象に、通訳（ポルトガル語、スペイン語）をつけて、申告がスムーズに行えるように支援した。

参加者 相談者 14 人、通訳 4 人、税理士 4 人 合計 22 人

協 力 東海税理士会浜松西支部

⑥メンタルヘルス相談（市委託事業）（1,110 件）

ブラジル人心理士 2 人を配置し、ポルトガル語でのメンタルヘルス相談を行った。

■相談

日 時 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月 週 5 日 9:00～17:00

相談件数 延べ 787 件

相談内容 うつ、統合失調症、ストレス、不安、心理的発達障害等に関連する相談。
家族の問題、教育上の問題、医療機関への受診等についての相談。

■通訳

精神科や発達相談関連の受診・相談に対し、専門家の通訳を派遣

通訳件数 延べ 154 件

■メンタルヘルスに関する通訳者等を対象とした研修会

日付	テーマ	会場	参加者数
9月2日(日)	認知の歪みと種類について	多文化共生センター	17人
1月20日(日)	職業適性と心理について		16人
3月10日(日)	文化と心理		14人
合計			47人

■メンタルヘルスに関する啓発講習会(小集団活動)

日付	テーマ	会場	参加者数
6月21日(木)	マットグロツソ連邦大学教員との意見交換(子どもの心理と教育)	多文化共生センター	7人
7月10日(火)	外国人相談窓口担当者研修	三重県国際交流財団	25人
11月10日(土)	人間関係のエンパワメント	浜松いのちの電話	6人
11月11日(日)	外国人向け無料検診会において	可美総合センター	20人
11月21日(水)	医療従事者に必要な外国人患者・家族とのコミュニケーションスキル	天竜病院	20人
12月15日(土)	知的障害と精神疾患について	浜松いのちの電話	5人
1月26日(土)	人格心理学について	浜松いのちの電話	8人
2月16日(土)	人格障害について	浜松いのちの電話	6人
2月19日(火)	外国にルーツを持つ患者への対応	浜松市発達医療総合福祉センター 相談支援事業所シグナル	25人
合計			122人

■外国人向けのフリーペーパー(ポルトガル語雑誌)Boa Dicaへの記事寄稿

合計4回 「心理学について」「うつ病について」「中年の危機」「自閉症について」

⑦ソーシャルワーク研修(市委託; 浜松市多文化共生センター事業)(476人)

■ソーシャルワーク習得講座 会場 多文化共生センター

内容 通訳や相談員が、多種多様な通訳場面や相談に対応するために、専門的知識を習得し、外国人市民の生活支援にあたるためのノウハウや心構えを学ぶ研修を行った。

対象 各機関で外国人の通訳や相談にあたるバイリンガル者

ブラジル、ペルー、アルゼンチン、メキシコ、中国、フィリピン、日本

日時	テーマ	講師	参加者数
4月15日(日) 14:00~16:00	新在留管理制度について(ポルトガル語通訳つき)	名古屋入国管理局 渉外調整官 高倉龍登	97人

5月20日(日) 14:00~16:00	新在留管理制度・ 住民登録について (タガログ語通訳 つき)	名古屋入国管理局 渉外調整官 高倉龍登 浜松市市民生活課 佐原良治	133人
6月16日(土) 14:00~16:00	法律相談の事例	法テラス弁護士 大久保聡子	26人
9月1日(土) 14:00~16:00	医療通訳研修	NPO法人多言語社会リソースか ながわ 岩本弥生・八鍬マルシア	40人
12月8日(土) 14:00~16:00	多文化共生の社会 づくり	NPO法人神戸定住外国人支援セ ンター理事長 金宣吉	42人
合計			338人

■ケース検討会 会場 多文化共生センター

内 容 通訳や相談業務に携わる人材のスキルアップを目指し、日頃から通訳や相談員として活躍している参加者自身が直面している現場の状況を取り上げ、より適切な対応について検討していくことを目的に、その方法について学んだ。

対 象 通訳や相談の実践の場を持つバイリンガル者

ブラジル、ペルー、アルゼンチン、メキシコ、中国、フィリピン、日本

日時	テーマ	講師	参加者数
7月14日(土) 14:00~16:00	新在留管理制度に ついて	名古屋入国管理局 総務課長 横井聖次	50人
9月29日(土) 14:00~16:00	在日ブラジル人の 教育について	浜松市外国人学習支援センター チーフコーディネーター内山夕輝	19人
11月10日(土) 14:00~16:00	ブラジル人弁護士 による法律相談に ついて	ブラジル人弁護士 イシカワ・エツオ	20人
2月10日(日) 14:00~16:00	ブラジル人学校に ついて	ブラジル国立教育委員会理事 フランシスコ・コルドン	25人
2月23日(土) 14:00~16:00	在日外国人の教育 について	静岡県立大学教育学部 山本ルシア	24人
合計			138人

⑧コミュニティ・エンパワメント（市委託；浜松市多文化共生センター事業）（953人）

■ブラジル人コミュニティエンパワメント 会場 多文化共生センター

日時	テーマ	講師	参加者数
5月13日（日） 14:00～16:00	全国在日ブラジル人ネットワーク（NNBJ）について	全国在日ブラジル人ネットワーク（NNBJ）	41人
5月19日（土） 15:00～17:00	改正入管法及び在留カード導入について（ポルトガル語通訳つき）	行政書士 星野秀光	43人
7月29日（日） 14:00～16:00	在浜松ブラジル総領事館のサービスの内容について	在浜松ブラジル総領事館	36人
10月28日（日） 14:00～16:00	ブラジル人のための生活設計講座	ブラジル連邦貯蓄銀行（CAIXA）	91人
11月18日（日） 13:00～17:00	教育に関するシンポジウム	静岡大学教育学部 山本ルシア 東海大学国際学部 溝口シゲヨ	196人
3月29日（金） 15:30～17:00	ブラジルにおける調停について	浜松ブラジル人協会（ABRAH） 日伯比較法学会	70人
合計			477人

■フィリピン人コミュニティエンパワメント 会場 多文化共生センター

日時	テーマ	講師	参加者
7月15日（日） 10:00～16:00	フィリピン大使館より手続きの説明	フィリピン大使館	105人
1月26日（土） 10:00～17:00	フィリピン大使館@浜松	フィリピン・ナガイサ フィリピン大使館	208人
合計			313人

■ペルー人コミュニティエンパワメント 会場 多文化共生センター

日時	テーマ	講師	参加者
7月1日（日） 14:00～16:00	新在留管理制度について	行政書士 星野秀光	33人

■自主グループ支援（130人）

① 多文化子どものための会「Aliança pela Infância Multicultural」

日 時 月1回程度

10:00～13:00 計11回

場 所 多文化共生センター

内 容 子どもの個性や発達など、ブラジルの子ども向けの音楽などを含めた勉強会

参加者 28人

② 多文化子どものための会「Aliança pela Infância Multicultural」

及び Minority Youth Japan

「ブラジル人絵本作家と語ろう」

日 時 5月27日(日) 14:00～16:00

場 所 多文化共生センター

内 容・子ども向けにブラジルで有名な「Sítio do Picapau Amarelo」の劇上演

・「孤独なツバメたち」ドキュメンタリー映画と第二世代の若者について

・参加していた保護者たちと、子どもや若者の教育についての意見交換

参加者 102人

⑨生活・行政用語ポルトガル語標準訳リスト作成（自治体国際化協会助成）（22人）

行政サービスを通訳・翻訳して伝える際に必要な生活用語や行政用語のポルトガル語の訳語について統一したリストを作成した。特徴としては、学識経験者等の検討委員のみでなく、実際に行政窓口等で通訳や翻訳を行う現場を持つ協力者に実際の作業に関わってもらうことで、現場の通訳・翻訳者の研修や意識向上、連携もねらったことである。

検討委員 6人

協力者 16人

会 議 検討会議・協力者会議 4回、その他ウェブ上での意見交換

ポルトガル語通訳・翻訳者・相談員ネットワーク会議 1回（2月23日）

成果物 『生活・行政用語ポルトガル語標準訳リスト』

用語数：209語 発行数：200部 言語：日本語・ポルトガル語・ローマ字表記

監修：駐日ブラジル大使館 後援：在浜松ブラジル総領事館

助 成 財団法人自治体国際化協会

3. 外国人子ども支援事業（市委託；浜松市外国人学習支援センター事業）

参加者数：延べ 285 人

①外国人子ども学習支援ボランティア養成講座（285 人）

公立小学校に通う外国人児童に放課後学習支援を行うボランティアを養成する講座を開催した。

協 力 浜松市教育委員会、浜松市立佐鳴台小学校、浜松市立南の星小学校

全 12 回／各期 年 2 期 受講者 延べ 285 人

	期間	受講者数
1 期	5 月 24 日～8 月 9 日	延べ 182 人
2 期	10 月 4 日～12 月 20 日	延べ 103 人
合計		延べ 285 人

*プログラム例：浜松市における外国人児童の実態、ボランティア活動紹介

ボランティア体験、子どもたちのその後（外国人青少年の現状）

学校とボランティアの連携など

4. 地域共生推進事業（市委託；浜松市多文化共生センター事業）

参加者数：延べ 31 人 22 件

①各地域への個別支援（22 件）

■地域への個別支援（16 件）

地域名	内容
初生第三自治会	民間アパートに入居しているタイ人に自治会の案内をするための通訳を紹介してほしい。
天竜川団地自治会	団地内に居住する外国人住民に外国人の自治会組織を作ってもらいたい、組織をつくるための話し合いとして、住民懇談会を開催したい。 →呼びかけチラシの作成とポルトガル語翻訳を支援。声をかけるにあたっては、できるだけ口コミで知り合いを通じて行うように助言。まずは、知り合いのブラジル人とアイデアを共有してそのブラジル人に賛同してもらったら、そこから声をかけることを助言。
遠州浜第三自治会	草刈りの作業にブラジル人住民も参加してもらうように案内文書をポルトガル語に翻訳。
砂丘団地自治会	夏祭りでサンバショーを行う団体を紹介。
県営葵団地、県営子安団地、県営薬新、県営佐鳴台、県営鷺の宮、高丘自治会、県営浜北団地、県営天竜川団地、県営神田団地、県営遠州浜第二自治会、雇用促進団地 浜北、県営竜禅寺	4 月から変更する新しいゴミの分別・出し方のルールについての説明会（浜松市資源廃棄物政策課が各自治会へ呼びかけて実施）への通訳派遣。ポルトガル語、スペイン語、中国語、ベトナム語、タガログ語の言語で、全 12 自治会に対し、延べ 20 人の通訳を派遣。

■各地区における防災訓練支援 (3件)

地域名	内容
遠州浜第三自治会	津波避難訓練・避難訓練の案内ちらしをポルトガル語に翻訳。
佐鳴台県営団地	防災訓練におけるポルトガル語通訳を派遣。
砂丘団地自治会	防災訓練の案内ちらしをポルトガル語に翻訳。

■モデル地区・遠州浜への支援 (3件)

- ・運動会支援 (10月14日) 地元のブラジル人グループが「ごみ仕訳人競争」を企画・運営するにあたり、自治会とのコーディネートを行った。
- ・津波防災訓練 (9月2日) 防災訓練へ外国人住民への呼びかけ支援・翻訳
- ・回覧文書等のモデル的翻訳 (集会所使用規定、総会案内、自治会規約など)

②自治会回覧文書作成

内 容 「防災訓練」「草刈り」「夏祭り」

言 語 やさしい日本語及びポルトガル語

配布方法 多文化共生センターのホームページからダウンロード

周知方法 地域共生自治会会議 (3月17日) 及び新聞掲載により周知

③地域共生自治会会議 (31人)

浜松市内の外国人住民の多い自治会が集まり、外国人住民とともに作る地域づくりについて先進事例を聞き、各自治会の情報交換を行った。

外国人住民とともに進める防災対策について、外国人の目線からの防災対策について話を聞き、「やさしい日本語」について学ぶ機会とした。

日 時 3月17日 (日) 13:30~15:30

会 場 多文化共生センター

参加者 11自治会 20人 一般5人 関係者6人 合計31人

内 容 ①講義「外国人住民から見た東日本大震災と災害時における『やさしい日本語』」

講師：時光 (NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会事務局長)

②浜松市・浜松市多文化共生センターより情報提供

「災害時多言語支援センターについて」ほか

③各自治会より報告と意見交換